



日常の集団行動や教育活動が命を守る

校長 垣崎 晃

あけましておめでとうございます。昨年の本校へのご支援に厚くお礼を申し上げます。本年もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日は引き渡し訓練を行わせていただきました。緊急事態宣言等のため、2年と4か月ぶりの実施となりました。1, 2年生は初めての経験です。事前に訓練をしておくことも大切なことです。

命を守るということは、当然、何よりも優先して行わなければいけないことです。学校においては、登下校の交通安全、不審者対応、火災や地震、豪雨などの水害への備え、健康面への注意、学校施設の安全点検整備、校内での子供の導線を想定した安全確保など、様々な観点で生命を脅かす危険性から、子供たちを守る対策を立てています。

学校で実施する火災等の避難訓練についても、授業時間だけでなく子供たちが校庭を含め校内中に散らばっている休憩時間に行ったり、予告なしで実施をしたり、不審者が校内に侵入したと仮定したりなど、様々な場面を想定して訓練を重ねています。どのような状況であっても迅速かつ適切な対応がとれるようにしています。

どのような対策を立てていても、どのような訓練を重ねていても事故や、災害は私たちの想定を遙かに超えて襲いかかってくる場合もあります。

「今やろう」

もしも今、東京に大地震が起きたら。そのとき、家にいたら？地下鉄にいたら？真冬だったら？真夜中だったら？ひとりでいたら？守るべき誰かいたら？東京が一瞬にして姿を変えるその瞬間、あなたはどうする？今想像しよう。今正しい知識を得よう。今備蓄しよう。今家族や近所の人たちと話そう。一つひとつの小さな備えが、あなたを守る盾になる。人は災害と戦える。今やろう。災害から身を守るすべてを。

(東京防災より)

普段からの備えを十二分に行っておくことが大切です。災害等から身を守るためには、訓練や学習も当然必要なことですが、そのうえで、毎日の生活の中に定着していけることが大事です。例えば、教室間の移動の時は並んで整然と歩くこと、校内放送が始まったら静かにし耳を傾けること、チャイムがなったら素早く教室に戻ることなど、集団生活上のよき習慣や互いの信頼関係を意味づけて、地道に続けていくことが重要であります。今後も取り組んでいきたいと思っております。